

平成29年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年2月10日

上場会社名 ムトー精工株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 7927 URL http://www.muto.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 田中 肇  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部担当 (氏名) 金子 貞夫 (TEL) 058(371)1100  
 四半期報告書提出予定日 平成29年2月10日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第3四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第3四半期	18,071	3.3	330	—	501	—	404	—
28年3月期第3四半期	17,486	4.6	△212	—	△21	—	△179	—

(注) 包括利益 29年3月期第3四半期 434百万円( —%) 28年3月期第3四半期 △665百万円( —%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第3四半期	56.31	—
28年3月期第3四半期	△25.04	—

四半期連結経営成績に関する注記

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第3四半期	23,887	11,954	47.2
28年3月期	22,105	11,540	48.9

(参考) 自己資本 29年3月期第3四半期 11,268百万円 28年3月期 10,817百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	8.00	—	0.00	8.00
29年3月期	—	0.00	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	22,000	△2.1	150	—	100	—	80	—	11.13

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 — 社(社名) 、除外 — 社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

29年3月期3Q	7,739,548株	28年3月期	7,739,548株
29年3月期3Q	552,649株	28年3月期	552,649株
29年3月期3Q	7,186,899株	28年3月期3Q	7,186,945株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
(4) 追加情報	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、熊本地震や英国のEU離脱決定を背景に円高・株安が続いておりましたが、新米大統領による経済政策への期待感やOPECによる原油減産の決定等の影響により、円安・株高が進行しました。他方、外国人観光客は増加傾向にあるものの、円安などを背景に1人当たりの購入額が減少しており、個人消費は伸び悩みを続けております。

世界経済において、米国の景気は堅調ですが、中国やその他の新興国では景気減速傾向にあります。また、米国や英国の新政権による政策や世界各地での移民問題・テロ事件などを背景に、先行き不透明な政治・経済情勢が続いております。

当社を取り巻く業界では、AV関連においては、熊本地震に伴い停止していたデジタルカメラ等の生産が再開しましたが、外国人観光客向けの家電販売は伸び悩んでおります。スマートフォンでは新機種の販売が好調でしたが、発火事故に伴う生産停止により生産・販売の低迷が見られました。自動車関連においては、熊本地震や燃費データ不正問題による生産活動等への影響は落ち着きつつあるものの、減税終了の影響が長引いており軽自動車の販売は伸び悩みが続いております。

このような経済環境のなか、当社グループにおきましては、熊本地震による減産、電子ペンの供給先によるリコール・生産停止などが減収要因となりましたが、国内・海外ともに工場の生産状況は回復しております。加えて、固定費の削減並びに業務効率の一層の改善などにより低コスト構造の構築及び財務体質の強化に努める一方、米大統領への政策期待を背景とした円安の加速が収益改善に寄与し、また、前連結会計年度に行った固定資産の減損処理により償却負担が減少したことで、前連結会計年度の損失計上から一転して利益計上となりました。その結果、当第3四半期連結累計期間における業績は、売上高は180億7千1百万円と前年同四半期と比べ5億8千5百万円(3.3%)の増収、営業利益は3億3千万円(前年同四半期は営業損失2億1千2百万円)、経常利益は5億1百万円(前年同四半期は経常損失2千1百万円)、親会社株主に帰属する四半期純利益は4億4百万円(前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失1億7千9百万円)となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

#### ① プラスチック成形事業

当セグメントにおきましては、国内において主力製品のエアコンパネルやナビゲーション、ETC、ECU等の自動車向け部品売上が増加し、海外では、主にムトーベトナムCO.,LTD.においてミラーレス一眼カメラ等のカメラ部品が売上増加となり、加えて、血圧計・血糖値計、ICレコーダーなどの生産が順調に増加しております。一方、供給先都合による生産停止があったもののスマートフォン、タブレットPC向け電子ペンの量産により売上が増加いたしました。その結果、当第3四半期連結累計期間において、売上高はセグメント間の内部売上高を含めて163億4千2百万円と前年同四半期と比べ8億2千5百万円(5.3%)の増収となり、セグメント利益(営業利益)は3億2千3百万円(前年同四半期はセグメント損失(営業損失)2億3千7百万円)となりました。

#### ② 精密プレス部品事業

当セグメントにおきましては、前連結会計年度において大型プレス機などの設備投資により生産能力を拡充・増強し、新規市場開拓を推進しておりますが、市場の縮小により新規案件は減少傾向にあり、厳しい価格競争が続いております。国内においては、新たに電子ペンや健康医療機器などのプレス部品を受注し、海外においては、カーオーディオなどの自動車関連部品やノートパソコン関連部品を受注しておりますが、総体的に売上は減少傾向にあります。また、国内においてはプレス関連の生産・検収遅れにより経費、運送費が増加いたしました。その結果、当第3四半期連結累計期間において、売上高はセグメント間の内部売上高を含めて16億2千2百万円と前年同四半期と比べ2億6千2百万円(13.9%)の減収となり、セグメント利益(営業利益)は0百万円と前年同四半期と比べ3千万円(99.5%)の減益となりました。

#### ③ プリント基板事業

当セグメントにおきましては、設計部門は、高密度の電子機器に使用されるプリント配線板設計と産業用機械や複写機などの設計業務が売上を伸ばしております。一方、検査部門においては、パッケージ基板やフレキシブル基板、セラミック基板など特殊な検査業務は増加しましたが、電波時計や遊技機器に使用される基板の受注が大きく減少いたしました。その結果、当第3四半期連結累計期間において、売上高はセグメント間の内部売上高を含めて2億1百万円と前年同四半期と比べ5百万円(2.7%)の増収となり、セグメント利益(営業利益)は7百万円(前年同四半期はセグメント損失(営業損失)5百万円)となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間の財政状態は、流動資産につきましては、前連結会計年度末に比べ14億2千1百万円増加し、154億7百万円となりました。現金及び預金が5億1千4百万円、受取手形及び売掛金が8億4千7百万円、電子記録債権が1億5千6百万円、商品及び製品が2億1千8百万円、原材料及び貯蔵品が1億6千1百万円それぞれ増加し、仕掛品が2億7千8百万円、その他(流動資産)が1億3千8百万円それぞれ減少したことなどが主な要因です。

固定資産につきましては、前連結会計年度末に比べ3億5千9百万円増加し、84億7千9百万円となりました。有形固定資産が2億9百万円増加したことなどが主な要因です。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べ17億8千1百万円増加し、238億8千7百万円となりました。

また、流動負債につきましては、前連結会計年度末に比べ9億8千3百万円増加し、92億8千6百万円となりました。支払手形及び買掛金が1億4千1百万円、短期借入金が11億7千5百万円、未払法人税等が4千7百万円それぞれ増加し、賞与引当金が9千5百万円、その他(流動負債)が2億8千4百万円それぞれ減少したことなどが主な要因です。

固定負債につきましては、前連結会計年度末に比べ3億8千3百万円増加し、26億4千6百万円となりました。長期借入金が3億7千7百万円増加したことなどが主な要因です。

この結果、負債の部は、前連結会計年度末に比べ13億6千7百万円増加し、119億3千2百万円となりました。

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ4億1千3百万円増加し、119億5千4百万円となりました。利益剰余金が4億4百万円、その他有価証券評価差額金が7千万円それぞれ増加したことなどが主な要因です。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年3月期の連結業績予想(通期)につきましては、平成28年11月11日に公表いたしました「平成29年3月期第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」の内容より変更はありません。

なお、実際の業績は今後の様々な要因によって大きく差異が発生する可能性があります。今後、業績予想に関して修正の必要が生じた場合には速やかに開示する予定であります。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

海外連結子会社の税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

### (4) 追加情報

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,959,307	5,473,855
受取手形及び売掛金	4,106,547	4,954,091
電子記録債権	516,300	672,427
商品及び製品	704,652	923,007
仕掛品	1,148,657	870,071
原材料及び貯蔵品	1,683,045	1,844,453
未収入金	312,600	252,438
繰延税金資産	2,781	3,733
その他	553,217	414,847
貸倒引当金	△1,267	△1,185
流動資産合計	13,985,840	15,407,741
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,099,199	2,007,779
機械装置及び運搬具（純額）	3,419,725	3,539,199
土地	1,072,592	1,076,219
建設仮勘定	247,279	125,445
その他（純額）	526,095	825,874
有形固定資産合計	7,364,892	7,574,517
無形固定資産	266,362	281,144
投資その他の資産		
投資有価証券	243,797	342,193
退職給付に係る資産	94,389	108,491
その他	153,503	175,837
貸倒引当金	△2,885	△2,885
投資その他の資産合計	488,804	623,638
固定資産合計	8,120,060	8,479,301
資産合計	22,105,900	23,887,042

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,837,204	2,978,807
短期借入金	3,034,154	4,209,854
1年内返済予定の長期借入金	1,145,168	1,143,876
未払法人税等	46,292	94,033
賞与引当金	164,551	69,320
繰延税金負債	391	355
その他	1,074,821	790,169
流動負債合計	8,302,583	9,286,415
固定負債		
長期借入金	1,904,249	2,281,254
繰延税金負債	23,383	23,252
役員退職慰労引当金	127,138	124,743
退職給付に係る負債	203,449	207,225
その他	4,565	9,809
固定負債合計	2,262,785	2,646,285
負債合計	10,565,369	11,932,701
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,188,960	2,188,960
資本剰余金	2,246,096	2,246,096
利益剰余金	6,898,851	7,303,533
自己株式	△397,733	△397,733
株主資本合計	10,936,173	11,340,855
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	48,119	118,763
為替換算調整勘定	△166,753	△191,575
その他の包括利益累計額合計	△118,634	△72,811
非支配株主持分	722,991	686,297
純資産合計	11,540,531	11,954,341
負債純資産合計	22,105,900	23,887,042

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
売上高	17,486,047	18,071,675
売上原価	15,225,226	15,548,098
売上総利益	2,260,821	2,523,577
販売費及び一般管理費	2,473,492	2,192,603
営業利益又は営業損失(△)	△212,671	330,973
営業外収益		
受取利息	35,606	18,961
受取配当金	5,145	7,366
為替差益	175,482	159,036
その他	14,538	41,233
営業外収益合計	230,772	226,597
営業外費用		
支払利息	39,347	54,967
その他	18	836
営業外費用合計	39,365	55,804
経常利益又は経常損失(△)	△21,264	501,767
特別利益		
固定資産売却益	5,226	4,448
特別利益合計	5,226	4,448
特別損失		
固定資産除却損	5,175	7,568
特別損失合計	5,175	7,568
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前 四半期純損失(△)	△21,213	498,647
法人税等	112,894	103,946
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△134,108	394,701
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支 配株主に帰属する四半期純損失(△)	45,823	△9,981
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会 社株主に帰属する四半期純損失(△)	△179,931	404,682

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△134,108	394,701
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	52,235	70,644
為替換算調整勘定	△583,849	△30,383
その他の包括利益合計	△531,614	40,261
四半期包括利益	△665,722	434,962
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△665,506	450,504
非支配株主に係る四半期包括利益	△215	△15,542

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	プラスチック 成形事業	精密プレス 部品事業	プリント基板 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	15,496,775	1,801,865	187,406	17,486,047	—	17,486,047
セグメント間の内部 売上高又は振替高	19,643	82,737	8,898	111,279	△111,279	—
計	15,516,419	1,884,603	196,304	17,597,327	△111,279	17,486,047
セグメント利益又は損失(△)	△237,204	30,424	△5,890	△212,671	—	△212,671

(注) セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	プラスチック 成形事業	精密プレス 部品事業	プリント基板 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	16,325,667	1,551,554	194,453	18,071,675	—	18,071,675
セグメント間の内部 売上高又は振替高	16,486	70,751	7,245	94,483	△94,483	—
計	16,342,153	1,622,306	201,698	18,166,158	△94,483	18,071,675
セグメント利益	323,510	163	7,299	330,973	—	330,973

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。